

# 令和6年度 村上地域区長会連絡協議会要望事項

## 1. JR 村上駅東西アクセスの向上及び駅前開発事業について

昨年度も要望したとおり、JR村上駅東西のアクセス向上については、地域住民や村上総合病院利用者をはじめ、多くの方から早期の着工の望む声があがっています。このことは『村上駅周辺まちづくりプラン（基本構想）』にも掲載されている内容であることから、JR村上駅東西のアクセス向上について現段階における計画内容や着工期、その進捗状況について具体的に示していただくとともに、早期の実現が図られるよう要望いたします。

また、旧村上総合病院の跡地利用については、昨年度利活用（案）が公表され、市民によるワークショップや地元への説明などが進められているところですが、全体の予算規模（概要）が示されておりません。事業の性質上、明確に示すことは難しいと承知していますが、今後の有意義な議論を担保する意味でも、概算額でも構わないので、全体の予算規模をお示しいただきたく要望いたします。

### 【回答】

村上駅東西の連絡通路整備については、整備手法の検討や早期の整備にかかるための協議を進めており、内容については都度周知を行ってまいります。

また、村上総合病院跡地の利活用については、PPP（公共サービスの提供に民間が参画する手法）を基本に検討を進めており、今後は具体的な内容やあり方について協議を進める予定です。そのため現時点で全体の予算規模はお示し出来ませんが、年明けを目途に概算事業費をお示ししたいと考えています。

（問合せ先：都市計画課）

## 2. 『みなとオアシス越後岩船』関連要望事項

平成28年度に岩船港エリアが『みなとオアシス越後岩船』として登録されました。『みなとオアシス越後岩船』は、岩船地区から瀬波温泉地区までの海岸線に位置し、「岩船港緑地」・「岩船港直売所」・「粟島汽船営業所」・「岩船港海岸（岩船海水浴場から瀬波海水浴場までの海岸）」をはじめ、すばらしい自然や多くの観光資源に恵まれております。地元でも各種イベントの開催や、令和元年度に緑綬褒章を受章した一斉清掃などの環境美化活動にも力を入れております。

つきましては、『みなとオアシス越後岩船』の登録により、更なる交流人口の増加を図るべく、下記の2項目につきまして、昨年度に引き続き要望します。

### (1) 旧市民会館跡地等の有効活用について

現在、旧市民会館は閉鎖され、日本海スケートボードパークとして利用されていた体育館部分も『村上市スケートパーク』のオープンに伴い、現在は利用されておりません。また、旧市民会館奥には『いこいの森児童公園』があり、休日になれば市内各

地から親子連れが訪れ大変な賑わいとなります。

2021年に開催された東京オリンピックでは、スケートボードが新たな競技に加えられ、日本人選手の活躍により人気が一気に高まったことから『村上市スケートパーク』を含めた旧市民会館一帯は観光においても地域内外の人々の交流の場としてもますます重要なスポットになりました。今後は旧市民会館跡地に新たな遊具を設置し、併せて恐竜公園のバーベキュー広場の設備を充実させ、家族が無料で楽しめるエリアの創設を要望します。

また、旧船員保険寮跡地及び旧村上市老人ホーム跡地には日本海を一望できる休憩所を整備するなど、『村上市スケートパーク』に隣接した新たな観光・交流スポットとして『みなとオアシス越後岩船』エリアにより多くの人を滞留させられるよう、土地の有効活用を要望します。

## 【回答】

旧市民会館敷地は、現在も日本スケートボーディング連盟が利用していますが、旧船員保険寮跡地や村上市老人ホーム跡地を含めた道玄池いこいの森森林公園一帯のエリアを有効活用することは、本市の魅力を高められるものと期待できることから、老朽化した施設を解体する方向で、今後調査費用や関連予算を計上し、エリア一帯の土地の有効活用を進めてまいります。

(問合せ先：生涯学習課)

## (2) 諸上寺公園の整備について

諸上寺公園には多くの桜が植樹され、春には見事な八重桜が見られることから、桜の名所としても広く知られています。当地区は『みなとオアシス越後岩船』の瀬波温泉地区と岩船地区の中間に位置し、登り口から頂上の諸上寺公園まで、道路に沿って八重桜が咲き誇る様子は、さながら桜色の龍が頂上へと駆け登っているかのようでもあります。

旧村上市時代には、植樹や追肥等を行い維持管理がなされてきましたが、合併後は十分な管理が行われておらず、枯れ始めた木も見受けられます。諸上寺公園が今後も桜の名所として、市民や『みなとオアシス越後岩船』を訪れた観光客に親しまれるように、計画的な桜の苗木の植樹や下草の伐採など必要な維持管理を要望します。

また、以前設置されていた諸上寺公園の展望台は『みなとオアシス越後岩船』エリア内随一の高さを誇り、屋上からはエリア全景を見渡すことができ、晴れた日には遠く粟島を望むことができましたが、老朽化のため使用禁止となり平成29年に解体されました。その後、簡易な展望デッキが設置されましたが、従来のような眺望を望むことが出来ません。『みなとオアシス越後岩船』を中心とした観光振興の面からも、前方の桜の枝を伐採することなく、展望台とトイレを一体化（1階部分を障がい者対応型トイレ、屋上部分を展望台とする）して整備するよう要望します。

## 【回答】

諸上寺公園については、桜や日本海の素晴らしい眺望を望むことができることから、多くの観光客に訪れていただいております。周辺遊歩道に木製フェンスを整備するなど、公園一帯の整備を進めております。今後も桜の植栽地や遊歩道の除草、倒木処理を定期的に行いながら展望デッキからの眺望を確保し、引き続き桜の名所として皆様に親しまれる公園となるよう維持管理に努めてまいります。

また、トイレについては老朽化や使用状況等を踏まえ順次更新等を行っているところですので、引き続き快適にご利用いただけるよう維持管理に努めてまいります。

(問合せ先：環境課、観光課)

### 3. 環状3号線の早期開通について

瀬波温泉トンネルから先の環状3号線については、地元の瀬波地区のみならず、他地区からも要望が出されたこともあり、村上市都市計画マスタープランの中でも広域幹線道路に位置付けられている重要な路線となっています。この瀬波温泉トンネルから先の環状3号線について、平成15年8月に当時の村上市長と村上土木事務所（現在の新潟県村上地域振興局地域整備部）に瀬波地区区長が連名で環状3号線の早期開通の要望書を提出しており、それ以降も早期開通の要望を繰り返しております。

しかしながら、同路線に大きな影響を及ぼす村上総合病院が移転・開院し、それに伴い県においては、村上総合病院へのアクセス道路としての松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということと、整備の必要性や効果の客観的な整理が必要ということで、国道345号瀬波温泉トンネル先線の事業化についてはいまだに目処が立っていない状況です。

平成28年6月の村上市議会第2回定例会の一般質問において瀬波温泉トンネル先線の整備に関する質問が提出され、市長は「瀬波温泉トンネル先線の整備を行うことは、村上駅西地区や新築される村上総合病院などへの山北からの海岸線沿線地区や瀬波地区からのアクセスの向上、村上駅西地区内の移動の円滑化が図られるほか、村上駅周辺のまちづくりにおいても重要な路線であると考えられます。今後もこれまでおこなってまいりました通常の要望活動に加え、岩船郡村上市土木振興会からも強く関係機関へ要望活動を行ってまいりますとともに、整備手法につきましても県と連携を図りながら研究・検討を行ってまいります。」と答弁しています。

また、令和2年9月開催の村上市議会第3回定例会でも同様の質問があり、市長は「要望活動は行っているが、県からは松山バイパス全線開通を最優先に事業を進めているということで、国道345号瀬波温泉トンネル先線の事業化については現時点では目処が立っていない状況であるという回答を受けているが、引き続き要望していく」と答弁しています。このことから市としても重要な路線と位置付けているということで、新潟県に環状3号線を事業化していただき、実施年度などの具体的な事業計画を示す必要があると思われまます。

この長年の懸案事項である環状3号線の早期開通に向けての事業化と事業実施年度の明確化を新潟県へ働きかけていただきますよう強く要望いたします。

**【回答】**

都市計画道路「環状3号線」の未整備区間となる瀬波温泉トンネル先線の早期事業化については、国道345号のバイパスと位置づけ、これまでも県に強く要望してまいりましたが、なかなか進展しない状況が続いています。

本市としては、村上総合病院の移転に伴い、JR村上駅西側へのアクセス向上を目的として県が整備を進めている松山バイパスの早期完成を最優先にお願いしているところですが、トンネル先線についても地域の活性化につながる路線としての重要性を踏まえ、今後とも粘り強く要望を継続してまいります。

(問合せ先：都市計画課)

#### **4. 山辺里体育館（旧山辺里中学校体育館）の改修について**

山辺里体育館は、建築後44年（昭和54年7月竣工）が経過し、躯体の老朽化が著しい上に夜間の照明（水銀灯）も暗く、さらには、給排水設備も中止の状態で、トイレも使用できない状況となっております。

市スポーツ施設整備計画では『大規模改修が必要になった際には、建て替えをすることなく施設を廃止する』となっておりますが、本施設は単にスポーツのみの施設ではなく、地域の中心に位置した村上農村環境改善センターと一体となった利用環境にあることから、毎年4月に開催している山辺里地区敬老会や放課後子供教室など地域コミュニティの拠点施設として必要不可欠な施設となっております。特に、長年のご尽力に対する感謝と長寿を地域挙げてお祝いする「山辺里地区敬老会」は、過去においては300人を超える敬老者の参加をいただく地域事業でしたが、トイレ等の利用が不便なことなどから、現在では100人前後の参加に留まっております。

また、軟式テニスクラブにおいては、全国大会への出場を果たすなど、地域内外のスポーツ愛好者の利用をはじめ、中学校部活動の補完活動や各種生涯スポーツ等子どもから高齢者まで多くの利用があり、令和5年度の利用実績は、671件、利用延べ人数6,566人で、本市社会体育施設の体育館利用者数の13%となっております。

以上のことから、地域防災や地域コミュニティ及び市民協働のまちづくりの拠点施設として、改修を強く要望いたします。

**【回答】**

山辺里体育館については、昨年度に行った施設の劣化調査により大規模な改修が必要となっております。

山辺里体育館が地域の拠点施設である村上農村環境改善センターと一体となって利用されていることから、同センターの利用状況を踏まえ、施設改修を検討してまいります。

(問合せ先：市民課、生涯学習課)

## 5. 旧上海府小学校校舎側トイレの使用について

旧上海府小学校については、体育館だけが市の指定避難所に指定されておりますが、能登半島沖地震で見られるとおり、多数の避難者が多くの月日を避難所で生活することを余儀なくされております。体育館側での想定収容人数は、わずか 141 人であり、体育館だけでは地区住民全員を到底受け入れられず、校舎側の利用も検討する必要があります。しかしながら、避難者が日常生活を送るためには、生活用水の問題があります。体育館側のトイレ、飲料水は廃校になった後でもなんとか確保できていますが、校舎側はトイレ、水道水とも利用ができなくなっております。校舎側は水道設備の構造上、一旦屋外貯水槽に水道水を貯留し、ポンプで校舎内に圧送する構造となっておりますとお聞きしておりますが、地震などでの緊急避難時の校舎側利用について、飲料水としての使用が不可でもトイレが使用できるようにならないか検討をお願いします。

### 【回答】

現在、旧上海府小学校については、校舎棟への送水を停止しており、体育館のみ指定避難所としています。しかしながら、校舎棟を避難所として使用する場合に備えて、トイレが使用できるよう準備をしております。

なお、令和6年9月20日からの大雨の際には、地元からの要請により、野潟地内にある「海府ふれあい広場」を開放して避難者の受け入れに備えました。空調設備等も備わっておりますので、こちらの施設についても指定避難所として活用可能かを検討しております。

(問合せ先：総務課)